

主義で話し合いを重ね、良い方向へ誘導していきたい。

問 農地中間管理機構の農地の出し手の募集とマッチングはいつか。

答 10月から本格化。2月頃まで順次マッチングを行いたい。

問 集積した農地の基盤整備、維持管理は誰がするのか。

答 今日の議論を踏まえて再度提出させていただく。

問 土地の集積は下手をすれば兼業農家から土地を取り上げて企業に渡す政策になりかねない。農地中間管理機構による土地の運用の決定権は知事にある。どのように把握をして地域の農業農村を守る政策を作るつもりか。

答 「人・農地プラン」は、昨年6月に全市町村で策定済み。これを今後活かし、拡充しながら現場の活性化を図っていく。

問 農協と行政が一体となって農業政策を進めるべきではないか。

答 同感。そうした組織を一つのパートナーとして進めていきたい。

問 鳥獣対策は公共事業と同等にスピード感を持って進めるべき。

答 対策が迅速に実施できるよう支援していきたい。

問 生産基盤の強化や未来型の酪農畜産の展開が必要ではないか。

答 若手の農家や関係者の意見を聞いて、未来型の酪農体制の整備を進めていきたい。

移住定住について

問 移住実績について最大の評価をしたい。もっと推し進めるべき。

答 ノウハウもたまってきた。共有して人づくりをしていきたい。

問 移住から定住につなげるためには職が大事。企業誘致の際に労働環境整備が必要。労働条件を把握しているのか。

答 労働局と協調しながら職場環境をしっかりとモニターしていく。

町立病院の位置づけ

問 地域の医療人材を確保するため、早急に医療勤務環境改善センターを設置することが重要では。

答 医療勤務環境改善センターの設置に向けて検討に入る。

警察は地域の灯台

問 交番の看板を夜間や遠くからでも目立つようにすべき。また外国人にもわかりやすくすべき。

答 (警察本部長) 県民のご意見を伺いながら、他の道府県も参考にし、積極的な表示に努める。

一般質問

9月定例会では、24人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県の和牛振興

小谷 茂 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 ① 基幹種雄牛の精液を県条例等の一定ルールで全国に販売し、その収入を基金として繁殖雌牛の増頭対策に充ててはどうか ② 宮城全共に向けて、肉質を調べるアイミートの整備やそれを使う技術者の養成等の対策を講じるべきでは。

答 ① 和牛振興戦略会議を創設し、県内生産者への供給との兼ね合いも踏まえて方向づけを決定する。基金については、当初予算で検討する ② アイミートは、早速更新について検討し導入していく。技術者の増員、体制整備も検討する。

大学・空の駅 砂丘・竹粉

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ① 鳥取環境大学の国際交流 ② 空の駅 ③ 砂丘ビジターセンターは東西両側に設置を ④ 竹粉の活用を。

答 ① 環日本海諸国との交流といえば鳥取環境大学だと言われるように取り組む ② 銀杏議員の質問に対し調査事業を計上し、賀露・空港のゾーニング等年度内に結論を得る。鳥取砂丘コナン空港の愛称は来年春位までに決定か。近傍での悪臭対策を検討する ③ 銀杏議員と同じ考えで議論が今後進んでいくだろう ④ 悪臭対策で竹粉と鶏ふんをませ堆肥化する予備試験を検討する。

党派正式名称

- 自由民主党…鳥取県議会自由民主党
- 公明党…鳥取県議会公明党
- 希望の党…鳥取県議会希望の党
- 共産党…日本共産党鳥取県議会議員団

危険ドラッグ ドクターヘリ

坂野経二郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 絆

問 ①危険ドラッグを全面規制する条例改正は、全国初の取組で、高く評価する。しかし、定義が曖昧で、善良な県民を罰する恐れについての認識を問う②中国五県で鳥取だけ、ドクターヘリを所持していない。鳥大病院にヘリポートが完成した今、いよいよ導入すべきでは。

答 ①条例改正が罪刑法定主義に適するかどうかは、最終的には最高裁判所の違憲立法審査権に服することになるが、恐らく抵触することはない②ドクターヘリを配備する条件が一つ増えたと感じる。

適正手続きと 危険ドラッグ

稲田 寿久 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 薬物防止条例改正案は処罰条項を設けており、行政刑法の範疇とはいえず、規制目的の正当性に加え、憲法が保障する適正手続き（デュープロセス）に則り、罪

刑法定主義を守って何が処罰の対象となるのか、厳格に構成要件を規定すべきだ。危険ドラッグから社会を守るといふ目的が正当であっても、人権尊重の立場からはデュープロセスを最優先すべきではないか。それでも改正は必要か。

答 社会防衛の立場を堅持し、改正条例案を通す決心だ。

地方創生に向 けた対応策は

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 第2次安倍改造内閣の発足に伴い、地方創生担当相が設けられ期待の声が高まっている。県内各地域の課題や、その対応策について、しっかり分析し、きめ細やかな戦略を立てるべきだと思いが、平井知事の所見は。

答 県だけではなく各市町村、更には各集落で何をやるべきなのか、また企業であれば特産品の創造に向けてどんな手を打つのか、具体的に考える必要がある。このようなモザイク型プロジェクトの中で地方創生は前に進むと思う。

人口減少・ 移住定住対策

岡治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

問 移住定住を更に進めるため、移住者の起業支援、農業大学の短期研修の負担軽減、仕事づくりのコミュニティビジネス支援、県内に就職した場合の県の奨学金の返済減免制度の創設等が必要では。

答 起業チャレンジ補助金などを点検して、移住者に使いやすくする。農業大学の短期研修と雇用保険給付を組み合わせて、対応策をまとめたい。コミュニティビジネスは、実情を聞いてサポートする。奨学金の減免は、国の動きを注視し効果を検証しながら検討する。

交付税と地方 創生について

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

問 地方創生には今以上に地方交付税のもつ調整機能と総額確保の重要性が不可欠である。三位一体改革では地方重視の税源移譲のほが補助金カットなど一般財源の大幅削減でなかったか。改めて地

方財政計画の役割を再認識する。

答 交付税は歳出特別枠などで歳出面は確保されている一方、臨財債は本来、真水で出されるべき。財政健全化計画で歳入不足を解消、経常収支比率は全国トップ。住民の財政二一スを満たす環境こそ政府の財源保障機能だ。

児童虐待の 相談体制強化

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 2013年度は全国の児童相談所が対応した児童虐待件数が過去最多となった。県内も、前年度比で1.5倍に増え、児童相談所への通告、対応件数が激増している。更なる児童相談所の体制見直しや児童福祉司の増員に取り組みすべきだ。知事の基本的な考えを伺う。

答 県では、市町村毎に要保護児童の対策地域協議会を設置している。その機能強化のために、職員研修や医療関係者との意見交換や情報共有をして、虐待の端緒の発見に向け、従来以上に努めるものとする。



農業、教育 二課題を問う

浜田 妙子 議員

選挙区 米子市 会派 絆



問 ① 今回の農政改革は地域の話し合いが基本だが不十分。又、中間管理事業明確化、法人化への専門対応、寄り添い制度を作るべき

② 学校で68名のメンタル休職者がいる危機的状況への対応は。外部人材や多くの事業をスリム化し、連携や周知の徹底を。

答 ① 丁寧に説明し話し合いを加速する。新年度に向け専門対応等制度のバージョンアップを図る②（教育長）相談体制の充実を図り、外部人材の活用を判り易く整理し、プロ集団としての風土作りを目指す。

人口減少と 地域の再生

伊藤美都夫 議員

選挙区 倉吉市 会派 希望



問 地域再生に特効薬はない。全国知事会も問題提起しているが、中山間地の辿った道を検証し、地域の特性、地域資源を生かし地域再生への道を息長く取り組むことが必要ではないか。

答 全国に先駆けて、少子化対策、移住対策にカジを切ってきた。仲間の知事と糾合して国に問題提起をしたのが子育て同盟。やっと国も動き出した。今が正念場だ。現場目線で地道に取り組んでいく。

女性が輝ける 鳥取目指そう

砂場 隆浩 議員

選挙区 鳥取市 会派 希望



問 輝きたくとも輝けない女性に対する支援こそが必要だ。介護と子育て、そして、シングルマザーを支える施策を、しっかりやっていただきたい。女性の自己決定権を尊重し、女性が夢を実現できる政策を鳥取から始める「女性イニシアティブ」を実現すべきでは。

答 社会全体のあり方を変えることだ。その崇高な目的に向け、県が小回りをきかせ、民間の再雇用支援などやれる領域もあるだろう。新しい男女共同参画を支える県独自のスキームを展開して参りたい。

中央集権から 脱却を

森岡 俊夫 議員

選挙区 境港市 会派 希望



問 地方分権への動きについての評価と地方自治のあり方を問う。

答 地方分権が進めば、地方が良くなるという幻想は第1次分権改革で経験した。権限の問題だけで

なく、大事なものは分権と分散という2つのベクトルを地方は追い求める必要がある。それが地方でも安心して暮らすことに繋がる。今、地方創生が始まったが、国は地方の邪魔をするような規制や税財政の状況、中央集権の残滓、いわゆる官僚機構や各省庁の権限を解消しなければならぬ。

高速交通網の 整備促進策

谷村 悠介 議員

選挙区 鳥取市 会派 無所属



問 新幹線、フリーゲージの議論は後でいいと思う。県内の高速鉄道のルートを智頭急行、因美線に決定し、誘致を目指してはどうか。

答 鉄道の高速化は当初予算で調査を計上し、執行を検討している。まとまれば議会に相談する。

問 米子・境港間の高速道路整備は米子西一Cから直通で中海架橋を通り、空港手前を横切り境港市中心部のルートとしてはどうか。

答 島根県と事務ベースでの協議を進める。勉強会の検討段階で本議会の議論を伝えていきたい。

